

安重根義士殉国104周期追悼及び、 国際交流会晩餐会の挨拶

人間自然科学研究所理事長

小松 昭夫

皆様こんばんは。

今日、安重根義士殉国104周期を迎える記念すべき場所にご招待いただきありがとうございました。ご招待いただきました、安應模理事長はじめ、関係者の皆様、そして、ご臨席いただきました皆様に感謝を申し上げます。

私は、安義士について、ここにいらっしゃる皆様ほどは勉強が出来ていないと思いますが、私なりに彼について色々と研究をしてまいりました。

私は、安重根義士は、民族の英雄だけに止まらず人類の英雄にするべきと思います。(拍手)

今日、韓国の朴槿恵大統領がオランダのハーグに世界核安保会議に参加されています。

ハーグは、李儁烈士が100余年前、万国会議場で世界列強に向けて、朝鮮が独立国であることを知らせようとしたの都市です。しかし、彼のその願望は叶わず、泊まったホテルで死体で見つかりました。その現場に李儁記念館が出来ている、韓国においては、辛い時代の歴史の現場という、意味ある場所であると認識しています。

私は、2年前、ハーグの李儁記念館を訪問したことがあります。その場所でも安重根義士を世界に知らせるようにしなければならぬと思い、安重根義士崇慕会の安理事長のご協力とご了解、また原本の所持者の方の了解を得て、安重根義士の遺墨『独立』の書のレプリカをハーグの李儁記念館にお渡しし、現在も展示されています。(拍手)

また、先月は中国のハルビン駅内の安重根記念館も訪問してきました。

そこを見に来たたくさんの人を見て、安重根義士は、ますます世界の英雄とされて行くことを確信しました。

安重根義士は、獄中で 未完成傑作『東洋平和論』を残しました。

当時は、今のような交通手段がなかったので、もっと広い世界を見て歩くのはそう簡単ではない時代でありました。おそらく彼は『世界平和』をイメージして『東洋平和論』を書いたのではないかと思います。(拍手)

最近のウクライナのクリミア半島の動きや、北朝鮮のミサイル発射など、今世界はとても混迷しています。

しかし、夜が明ける前が一番暗いという話がありますように、今の時代は、人類の明るい未来が開く直前であると認識しています。それは、このような混乱をどのように活かしていくかによるものでしょう。

これまで25年あまり、人間自然科学研究所を通じて、いろいろな活動をしてきましたが、私ももうすぐで古希を迎えるようになります。

もうそろそろ、今までの活動の花を咲かせ、実るようにしなければならぬ時期がきていると思いますので、皆様の応援とご協力をよろしくお願い致します。

ありがとうございました。

2014.3.26

晩餐会にて



遺家族と一緒に写真。
前右：安義士の孫娘、後ろの左4番目曾孫さん

式典の様子



感想：金美正

短い挨拶の中に、安義士に対する限りない尊敬の表明、安義士はひとつの民族の英雄ではなく、人類の英雄という表現を日本人の小松社長から聞かされて、参席の皆様はとても嬉しかったと思います。そこで烈々拍手と歓声がありました。

ハーグの『独立』の書の寄贈、ハルビン駅の記念館訪問を通じた実際の行動を聞いて、彼を本当の世界の英雄と知っていることが証明出来、これまで小松社長の活動を良く知らなかった人も強く認識出来たと思います。

100年前と現在の違いから見る安義士の東洋平和論の再評価の発言についても、大きな感銘を受けていると思いました。

人間的には、70歳の古希を迎えるに当たっての気持ちを、淡々と述べましたので、これまでの活動は人類史における使命感を持って、真摯に果たそうとする気持ちで行って来たことを共感してもらえたのではないのでしょうか？

通訳が終わって席に戻ったら、回りの方から社長の挨拶に「とっても感銘を受けた」というお礼をたくさん貰いました。

素晴らしいスピーチ、韓国人として感謝申し上げます。

ありがとうございました。